

続・地名を考へる

～地名は土地の呼び名である。人びとが自分たちの必要に応じてつけたもので、そこには地理的・歴史的・社会的生活の全体が含まれている。

(東皓博)～

- (1) 本町
- (2) 錦町
- (3) 新町
- (4) 中浜
- (5) 大浜
- (6) 八幡
- (7) 大井
- (8) 高下谷
- (9) 稻荷
- (10) 祇園
- (11) 西条
- (12) 姫宮

★矢野公民館だより 平成20年(2008年)5月号～平成21年(2009)4月号の
記事からの再掲

★(1)～(12)いずれも 文 発喜会 楠 精洲

(1) 本町

矢野のあいさつ言葉に、「町へ行く」があった。元禄時代（江戸）矢野村は地方（じかた）と町組（まちぐみ）に分かれていた。町組は矢野村「矢野町」だった。町筋（本町通り）に、47軒の町屋（まちや＝商店）が軒をつらねていた。銀行が去り、かもし屋が廃・転業し、商店が姿を消した。残っていたのは、大正7年（1918年）開設の矢野青物市場のみ。市場の2階に終戦時まで胡社が祭られていた。



㊦ (廃) 矢野青物市場(築90年)

(2) 錦町

大正4年（1915年）、裏町を嘉称（かしょう＝よい名）して、錦町に改名。

うら町は本町に対する「裏町」、またかつての海辺の町にちなむ「浦町」であった。矢野村の農業離れによる宅地化は、本町・裏町を軸に新町が伸び、これに中浜・中町が交差する形で進んだ。



㊧ 煙突の見える風景(本町より裏通りの日之出湯を望む。)

(3) 新町

尾崎神社の「鳥居前通り」は、中浜・中町通りと交差し、本町通りにつらなる。(神社前に発達した本町筋は、江戸時代の「宮の市」をルーツとする。)

清閑なたたずまいの新町は、年に一度、秋祭りの屋台店でおおいににぎわう。



⑨尾崎神社より表参道・鳥居前通りを望む

(4) 中浜

中浜通りのルーツは、濱（大浜）に通じる「ハマノマチ」。濱の新開地が宅地化すると、海寄りを大浜、内陸部を「中浜」と呼び名した。

中浜は、戦前の本町に変わって、商店が建ち並んだ。中浜商店街（全長72メートル）は、矢野駅の利用者の通り道に当たっていた。



⑩かつての繁華（はんか）な中浜商店街
(昭和47年)

(5) 大浜

大浜は、荒神浜・住吉浜と2分されるが、通常は1本化して考えられる。「浜へ行く」といえば、荒神さん(社)・住吉さん(社)のイメージとともに、矢野のウォーター・フロントの浜風・潮の香を感じる思いがする。

大浜のランドマーク(目印)の高層マンション 大浜のランドマーク(目印)の高層マンション2棟、ビューシティ矢野(14階)、藤和ハイタウン(9階)は、それぞれ独立した町内会に分離した。



㊤荒神浜の荒神社(昭和58年落成)

(6) 八幡

八幡(やわた)は、尾崎神社の旧名・矢野八幡(はちまん)の訓読みにちなむ町名。八幡町内には、宮脇(矢野商工会)・宮崎など、お宮にかかわる地名がある。このほか、隣の宮下(みやげ)町内には宮下川が流れ、丘の上(宮畝)には矢野西小学校が建つ。



㊦尾崎神社裏参道入口に建つ石碑群。左から戦役記念碑(大正14年建立)・髻(かもし)之碑(大正4年)・甘藷之碑(大正4年)

(7) 大井

大井は大江（大きな入江）の意で、海岸にちなむ名称。江の口（入江の口）と親子関係の地名である。大井は上（かみ）と下（しも）に分離。団地造成により、星が丘・大磯（昭和45年）が、近くはパプリコーポ矢野町内会が誕生した。大井説教場（現・大井上集会所）は矢野（本郷）と大井（枝郷）という地理的・歴史的要素をもつ場所的まとまりを残している。江戸期の創設で、矢野小学校大井分校（明治6年）だった。



㊦大井上集会所

(8) 高下谷

高下（こうげ）は山の麓（ふもと）の意。中高下（東）— 高下 — 高下迫（大井）の山裾（やますそ）は、草生地だった。「こうげ」は、また公家（こうげ）。

土着の豪族・矢野氏の居住地（土居）にちなむ地名とも。土居や女蓮（によれん）に屋敷があったと伝わる。平成3年、安芸矢野ニュータウンの造成工事で、砂田（または仏迫）観音堂は高下谷に遷座（せんざ＝移動）した。



㊦観音さんの高下谷町内会隣りへの移転行事と餅まき風景
（矢野西七丁目20番ブロック）

(9) 稻荷

稻荷（いなり）社にかかわる地名。町内には、このほか、大師堂・地藏堂を祭る。町内会は、「管理当番班」により、手あつく祭りを執行する。

内陸地・熊野方面への道筋に面し、昔は「下馬落し」ということがあった。



⑥参詣道の道しるべ(大原橋下・矢野東六丁目34番ブロック)。
稲荷(社)・弘法(堂=大師堂)

(10) 祇園

祇園（ぎおん）の神（スサノオノミコト）の分霊を祭る祇園社（矢野西六丁目21番ブロック）にちなむ地名。

現在の社殿は昭和2年に建てられた。祇園会館も同年の築で風格のある建物である。旧7月14日の「祇園さん」は、矢野一早い夏の夜祭り。



⑦祇園さんの夜祭り
(矢野の浴衣まつり・矢野西六丁目21番ブロック)

(11) 西条

西条（にしじょう）の名称は、条里制（大化の改新時の土地の区画法）によ
るとも、矢野町に柿栽培奨励（しょうれい）にかかわる西条（さいじょう）柿
によるとも云われる。しかし由来はよくわからない。

菊水幼稚園（昭和30年黒田シズエさん創設）は同51年（広島市立）矢野
幼稚園に編入された。



㊦川端に移された、園内の峠田(たおだ)のお大師さん。
峠田は黒田家の屋号(矢野西七丁目。番地は不明)。

(12) 姫宮

姫神を祭る姫宮社は、鎮座不詳（ちんざふしょう）の古い社（やしろ）。

元禄4年（1691年）、尾崎神社の御旅所（祭礼の御輿が渡御して仮にとど
まる所）は、荒神社から姫宮社に変わって現在に及ぶ。

川向うに姫宮神田（しんでん）があり、姫宮早稲（わせ）を作り、領主に奉
納していた。



㊦姫宮社(昭和60年、銅板屋根に替わった。
矢野西六丁目13番ブロック)